

PG スーツ

ハイグレードタイプ/リーズナブルタイプ

使い捨て式防護服 (PGS-H, PGS-R)



■タイプ

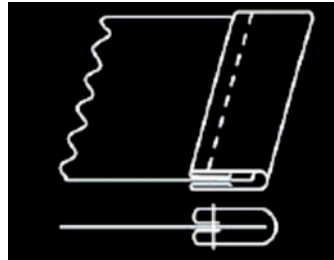
PG スーツハイグレードタイプ(63g)

PG スーツリーズナブルタイプ(53g)

■サイズ

	身長(cm)	胸囲(cm)
L	174-182	100-108
XL	180-188	108-116
XXL	186-194	116-124

■縫製技術



折り返された縫目による高いバリア性能、2重に折り返された縫目は、高強度で水滴の侵入を防ぎます。密閉性とより高い防護性を追求しています。

用途:

有害な塵の中での薬品の取扱いや危険を伴う作業に適しています。

- アスベスト除去
- 事故処理
- 微粒子や磁場の曝露した場所での作業
- 食品や薬品の取扱い・加工作業
- 塗装やスプレー塗装
- 電子機器の組み立て作業
- 採鉱・鉱業の作業
- 工業・製造作業

特長:

- 高強度
- 帯電防止加工
- 微粒子に対して高いバリア性能を発揮
- 耐薬品性
- シリコンを使用していない
- 軽量
- 高い耐久性
- CEヨーロッパ基準適合(PGS-H)

■ 性能試験

試験項目	試験結果		試験結果	
	ハイグレードタイプ	リーズナブルタイプ		
引張強さ(N)	たて	91	85	JIS T 8115
	よこ	45		
引裂強さ(N)	たて	49.2	57.3	JIS T 8115
	よこ	24.9		
耐水圧(mm)	2000 以上	1000 以上	JIS L 1092 A 法	
通気度(cm ³ / cm ² , sec)	0.1 未満	0.1 未満	JIS L 1096 A 法	

PG スーツの特徴と利点

優れた通気性の柔らかい、帯電防止された 65gm/sq, 53gm/sq メートルの生地から製造されます。

1. 高い伸張性があり、破損および摩耗に対して強い構造の素材です。
2. 帯電防止(EN1149-1) 加工により静電気の帯電を防ぐ。(石油化学産業など帯電により危険にさらされる作業者の保護)
3. 通気性(放熱性)により快適な作業コンディションを供給します。
4. 微粒子からの保護(繊維や 1 μ 以下の有害な微粒子の 99.8%以上をカットします。)
5. この PG スーツの生地は、幅広い薬品や煙霧に対して抜群の保護性能を発揮します。

EN368 のテストにより以下の物から 100%保護しました(PGS-H):

- A) 農薬
- B) メチルペンタン
- C) 木質
- D) アセトン

6. 危険を伴う塗料の塗布のために使われるため、理想的な微量の綿を使用し、シリコンを含まず、不純物による危険を回避しています。
7. この素材は軽量で、柔らかく快適で耐久性があります。伸縮性のあるフード、袖、ウエストと裾、そしてジッパーをカバーする粘着性テープを備え、十分な保護機能を供給します。

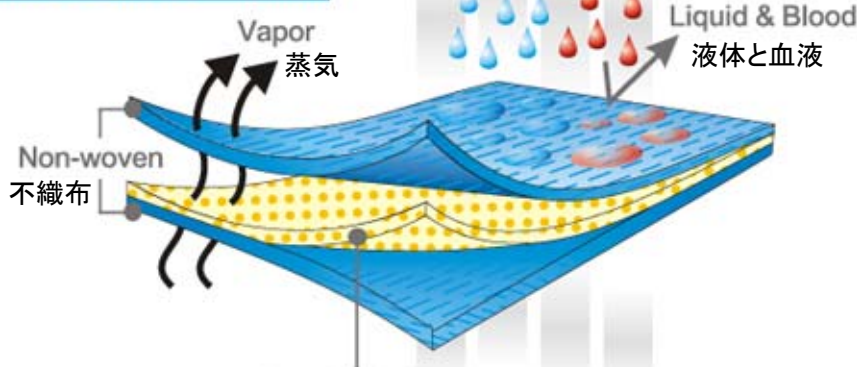
PGS-H は、Z2152/04-3209/04 のテストによるタイプ 6:ミスト防護用密閉服とタイプ 5:微粒子防護用密閉服の ID3346 基準を満たしています。

PG スーツの水分、蒸気の伝導性

微細孔フィルムが粉塵微粒子や水分をはじき、PG スーツの素材が内側の蒸気を外部へ放出します。

不織布は肌にやさしい素材です。

Nonwoven substrate provides comfort feeling to human skin.



通気性フィルム

通気性フィルムは、液体と血液に対する耐久性を保ちつつ、熱と水蒸気を放散します。

ポリプロピレンスパンボンドをポリエチレン入り不織布でラミネートした2層構造の軽くて強い防護服です。一般的な他社の防護服よりも首部分を長く、密閉性を高める為に縫い目はダブルステッチにするなど、より高い防護製を追求しています。

また、引張り・引裂き・摩擦にも強く、通気性が高いため暑い作業環境でも快適な着心地を保てる事も特長です。

人工血液不透過テスト 試験報告 (PGS-H)

テスト項目	テスト結果		テスト方法
人工血液不透過	Step 1	パス	ASTM F1670-2003
	Step 2	パス	
	Step 3	パス	

テスト手順

- Step 1 : 1ポンドの圧力をかけ5分間観察。
 Step 2 : 毎秒 0.5 ポンド以上の割合で、徐々に 2.0 ポンドまで圧力を上げる。圧力を 2.0 ポンドで保ち、1 分間観察。
 Step 3 : 毎秒 0.5 ポンド以上の割合で、徐々に 2.0 ポンドまで圧力を下げる。そのまま45分間観察。

伝統ある東洋一の刷毛・ローラー・塗装機器の総合メーカー

㊦大塚刷毛製造株式会社

本社 〒160-8511 東京都新宿区四谷4-1 TEL 03(3359)8724 FAX 03(3352)2915
 URL <http://www.maru-t.co.jp>

東京支店 ☎03(3357)4316 ㊦03(3357)5557
 大阪支店 ☎06(6532)3201 ㊦06(6532)3209
 九州支店 ☎092(473)6511 ㊦092(473)6515
 名古屋支店 ☎052(909)5255 ㊦052(909)5258
 神奈川支店 ☎045(921)4711 ㊦045(921)3667
 埼玉支店 ☎048(297)6081 ㊦048(297)6080
 千葉支店 ☎047(433)1811 ㊦047(434)3202

仙台支店 ☎022(236)7311 ㊦022(236)7543
 沖縄営業所 ☎098(882)9690 ㊦098(944)2160
 広島営業所 ☎082(234)4411 ㊦082(234)4166
 四国営業所 ☎087(840)0388 ㊦087(840)0399
 兵庫営業所 ☎078(924)8411 ㊦078(924)8415
 京都営業所 ☎075(691)8511 ㊦075(691)8574
 浜松営業所 ☎053(465)7952 ㊦053(465)7912

静岡営業所 ☎054(286)5622 ㊦054(283)6444
 長野営業所 ☎0263(27)4781 ㊦0263(27)5039
 湘南営業所 ☎0463(53)0011 ㊦0463(53)0022
 城南営業所 ☎044(287)7100 ㊦044(287)7101
 城西営業所 ☎03(3530)9891 ㊦03(3530)9890
 城東営業所 ☎03(5242)8111 ㊦03(5242)1300
 多摩営業所 ☎042(369)8611 ㊦042(369)8621

茨城営業所 ☎029(821)2571 ㊦029(821)2508
 栃木営業所 ☎028(659)3391 ㊦028(659)3345
 群馬営業所 ☎027(361)4311 ㊦027(361)4870
 新潟営業所 ☎025(286)4891 ㊦025(286)8876
 郡山営業所 ☎024(991)0222 ㊦024(991)0365
 札幌営業所 ☎011(841)1155 ㊦011(841)1159